

■第1回陸奥の国のまちづくりワークショップ 意見のまとめ 開催日：平成21年6月20日（土）

【テーマ】むつ市の良いところ・悪いところ ※（）カッコ内はグループ名

項目	良いところ	悪いところ	第1回、第2回勉強会での意見	市民アンケートによる意見
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ○土地が広く、安い地価で手に入れることができる(黄・青) ○閑静である(黄) 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域ごとの商業拠点が無い(青) ○コンパクトシティが望ましい(青) ○住宅市街地が空洞化している(緑) ○中心市街地が衰退している(黄) ○土地区画整理事業が行われていない(黄) ○土地利用が整序されていないため行き止まり道路が多い(黄) ○土地利用の規制が厳しい、独自の考え方があってもよい(黄) ○都市計画区域、用途地域はむやみに広げなくていい(黄) 	<ul style="list-style-type: none"> ○用途地域内の空地が多い(第1回) ○農地があっても、むつ市内にその農地を使う人がいない(第1回) ○川内・脇野沢は田名部・大湊地区と比べて地域格差がある(第2回) 	<ul style="list-style-type: none"> ○大畑地区、川内地区、脇野沢地区の役割は「農林漁業の中心的な地区」
中心市街地		<ul style="list-style-type: none"> ○中心市街地が衰退している(黄) ○中心市街地が消滅している(緑) ○商店街がバラバラになっている(緑) ○商店街が空洞化している(緑) ○商店街がシャッター通りとなっている(青) ○若者の遊戯施設がないため、休日等は市外へ人がながれている(緑) ○田名部駅が無くなってから、田名部商店街が低迷している(緑) ○田名部駅が無くなって街が変わった(緑) ⇒次回以降の検討事項として「中心市街地はどこか？」が挙げられた 		<ul style="list-style-type: none"> ○田名部地区の役割は「下北半島の商業の中心を担う地区」 ○「商店街のまち並みがきれい」は評価が低い。
産業 (農業・商業・工業)	<ul style="list-style-type: none"> ○海洋科学研究所がある(緑) ○自衛隊がある(緑) ○日本列島の本州の最北端市で、原子力の拠点都市である(緑) ○海面が多く水産業は多種多量である(青) ○水産業が豊かである(青) 	<ul style="list-style-type: none"> ○産業が少ない(緑) ○雇用が少ない(緑) ○若者がむつに戻って働ける場所がない(緑黄) ○農業が不振である(青) ○車の無い人が買い物に行ける所がない(青) ○毎日の必需品を買う所がない(青) ○自衛隊の人たちが遊べる所がない(青) ○夜の町が楽しくない(青) ○家内工業程度はあるが大きな事業所はない(青) 	<ul style="list-style-type: none"> ○地元で農業以外の職場が少なく、若い人たちが地元に戻ってこない(第2回) ○就業先が減っていると感じる(第1回) 	<ul style="list-style-type: none"> ○「自動車を利用した買い物が便利」は評価が高い。 ○「働く場所としての工場・事業所などが十分にある」は特に評価が低い。
公園・河川・下水道など	<ul style="list-style-type: none"> ○公園がきれいに整備されている(緑) 	<ul style="list-style-type: none"> ○都市としての社会資本が未整備である(青) 	<ul style="list-style-type: none"> ○公園等を整備してもあまり利用されていない(第1回) ○下水道事業が進んでいない(第1回) 	<ul style="list-style-type: none"> ○「水害を防ぐための河川や水路が整備されている」は評価が高い。
道路	<ul style="list-style-type: none"> ○市内の道路は比較的整備されており、冬期の除雪もよく実施されている(緑) 	<ul style="list-style-type: none"> ○道路整備が進んでいない(緑黄青) ○住宅地の道路が行き止まりになっている(緑) ○市街地内の水田でミニ開発が行われ、行き止まり道路が多い(緑) ○生活道路が整備されていない(緑) ○都市計画道路が整備されていない(緑) ○地域間道路が整備されていない(緑) ○歩道の無い道路が多い(緑) ○側溝の未整備が多い(緑) ○青森市との行き来がしやすい道路がない(青) ○第1次産業のための流通路が十分に確保されていない(青) ○道路整備のための財源の確保(青) 	<ul style="list-style-type: none"> ○道路がなかなか広くならない(第1回) ○長期に渡って整備されていない都市計画道路がある。(第1回) 	<ul style="list-style-type: none"> ○「歩道が整備されており安心して歩ける」は評価が低い。
公共交通機関		<ul style="list-style-type: none"> ○鉄道やバスが不便。循環バスが必要(黄) ○田名部のバスターミナルとJRの駅が遠いので、下北駅をターミナル化して欲しい(黄) ○下北交通とJRバスの連携(乗り継ぎ)が悪い(黄) ○バスの運行本数が減少し、買い物などの移動が不便(青) ○JR大湊線が強風により、よく止まるため使いにくい(緑黄) ○まちなかを含め、交通が不便である(緑) ○半島であるがため、開発に重要な交通体系の整備が遅れている(緑) ○自動車がないと生活できない(緑) ○大都市へのアクセスの整備の遅れが、生産地の形成を阻害している(緑) 	<ul style="list-style-type: none"> ○中心部に行く路線バスが不便である(第1回) 	<ul style="list-style-type: none"> ○「路線バスや鉄道を利用した行動が便利」は評価が低い。 ○大湊地区の役割は「広域的な交通の結節を担う地区」

項目	良いところ	悪いところ	第1回、第2回勉強会での意見	市民アンケートによる意見
公共公益施設		<ul style="list-style-type: none"> ○用途地域以外に公共施設が移転している(緑) ○市役所の跡地が利用されていないなどの市街地内の拠点づくりに計画性がない(緑) ○医療施設が質、量ともに不足している。高度医療施設の充実とそこに至る道路整備が必要(黄) ○原燃施設を観光面でもっと生かすべき(黄) ○海上自衛隊施設やOBの方を活かして、海洋面での活性化が図れないか(黄) ○新むつ市全体を考えた施設の配置ができないか(黄) 		<ul style="list-style-type: none"> ○「子育て支援施設が整備されている」は評価が低い。
自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ○釜臥山がある(緑) ○公害が少ない(緑) ○自然と水が豊富(緑青) ○海の幸と山の幸が多い(緑) ○温泉が多い(緑) ○自然に恵まれていて、食料供給の原点である(緑) ○森林の可能性はある(緑) ○星空、夜景がきれい(緑黄) ○周辺に自然が多い(緑) ○海洋資源の可能性はある(緑) ○空気がおいしい(黄) ○海や山が近く、食べ物が新鮮でおいしい(緑黄) ○四季がハッキリしており、気候がよい(黄) 			<ul style="list-style-type: none"> ○「海・山・川・農地などの自然が昔と変わらず残っている」は評価が高い。
観光・イベント	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史がある(緑) ○田名部まつりが素晴らしい。子供からお年寄りまでが参加して地域のつながりを感じられる(黄) ○地酒などがあり夜の町が楽しい(青) 【固有の観光資源】 ○恐山(黄青) ○奥内歌舞伎(黄) ○体験観光ツアー(青) ○関ノ井、地酒(青) ○水産物(青) 	<ul style="list-style-type: none"> ○恐山等の観光客を市内にとどめられない(緑) ○下北以外から観光客を呼ぶためのPRが不足している(黄) ○むつ市の特産物などを全国にアピールするソフトが整っていない(青) ○地域のアピールするハードはあっても、ソフトが不足している(青) ○「下北でしか手に入らない」というものがない(青) ○家族連れで遊べるような複合的な施設がない(青) ○メディア等を使ったPRが不足している(青) ○体験型観光の提案が必要(青) ○夜の町を楽しくする(ゲーム等の仕掛け)(青) 	<ul style="list-style-type: none"> ○地区内に観光資源はいっぱいあるが十分に活用されていないのでPR方法に工夫が必要である(第1回) ○観光資源は確かにあるが、それを活かして地域を活性化させようという動きはあまり見られない(第2回) 	<ul style="list-style-type: none"> ○「観光施設が十分に整備されている」は評価が低い。
人口・コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ○人口が少ない(緑) ○人情に厚い(緑) ○犯罪が少ない(緑) 	<ul style="list-style-type: none"> ○人口が減少している(緑) ○人口減少が目立っており、世帯の収入も減少しつつある(青) ○人口増加につながる社会資本が整っていない(青) ○今後の人口減少を考慮したまちづくりが必要(青) ○人口増加のための産業誘致が必要(青) ○合併後の町が1つにまとまっていない(緑) ○コミュニティが壊れかけている(緑) ○他人の足を引っ張ることが多い(緑) ○昔に比べて労働力が減っている(黄) 	<ul style="list-style-type: none"> ○将来の人口減、高齢化を踏まえたプランづくりが必要である(第1回) ○都市計画マスタープランに人口減少、高齢化をどのように踏まえていくのが重要である(第2回) 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○人柄がよい(黄) ○住みやすい(黄) ○食糧品は100%の自給率である(青) 	<ul style="list-style-type: none"> ○財政が逼迫している(黄) ○街路樹の清掃など地域のリーダーが不在である(黄) ○地域の住民性の問題がある(黄) 	<ul style="list-style-type: none"> ○合併時に策定されたまちづくりの計画を検証する必要がある(第1回) ○これまでに策定された計画にある将来像を、今後の計画に継承していくべきである(第1回) ○過去のまちづくりの計画が進んでいない。市の施策が実行されていない(第1回) 	<ul style="list-style-type: none"> ○むつ市の将来イメージ <ul style="list-style-type: none"> ・健康、福祉が充実したまち ・中心商業地、商店街に賑わいのあるまち ・道路や歩道が充実したまち

■第2回陸奥の国のまちづくりワークショップ 意見のまとめ 開催日：平成21年7月25日（土）

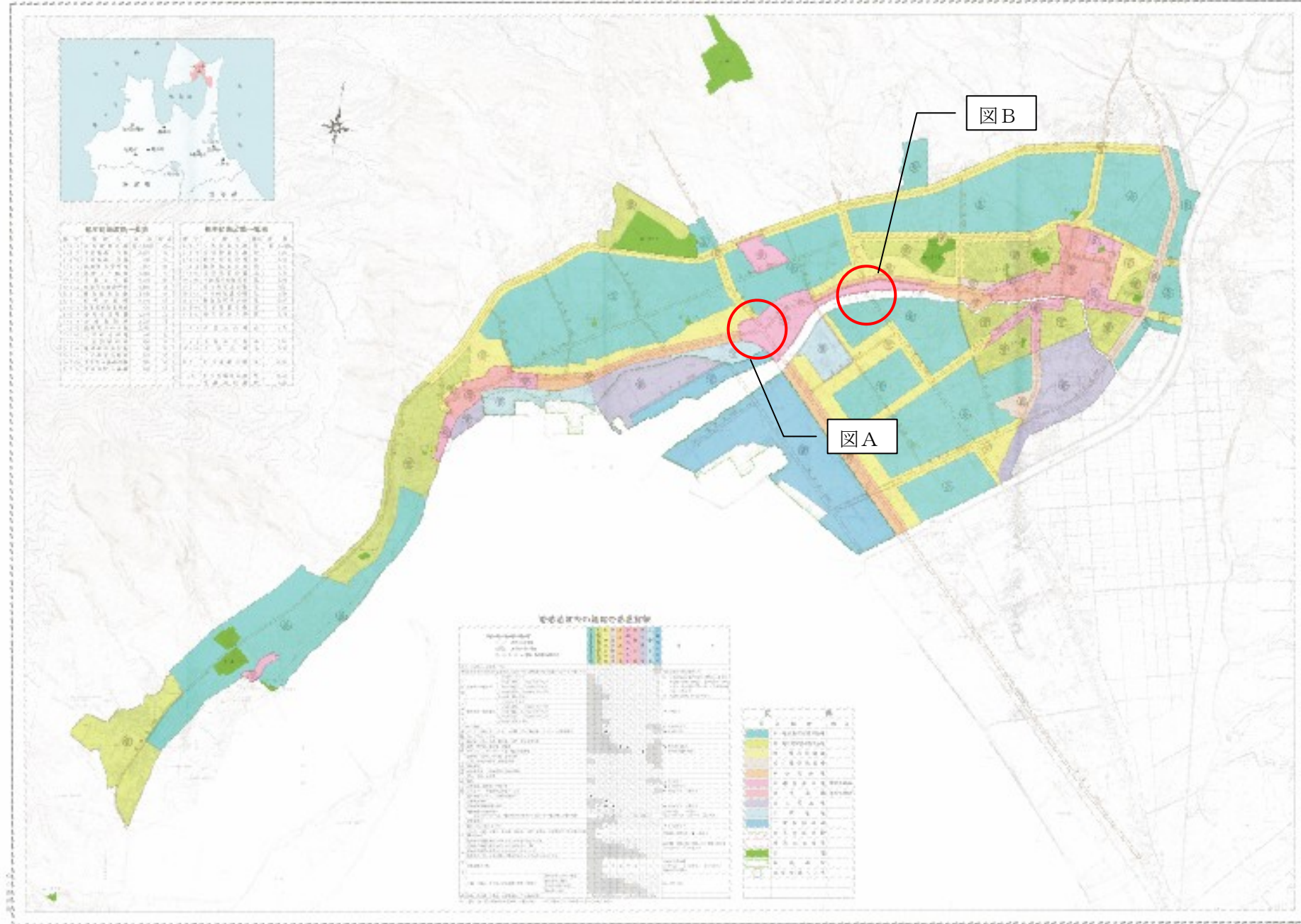
【テーマ】住みよいまちづくり ※ () カッコ内はグループ名

	現況の問題点	将来のイメージ	整備・保全・改善の考え方
土地利用	○郊外のショッピングセンターなどの大型店が規制されていない(黄) ○山、自然を開発しすぎる(青) ○用途地域外へ商業が広がっている(青)	○人口減少は止められないので、コンパクトな街を目指す(黄) ○商業地域をあまり広げない(黄)	○用途地域内での区画整理事業を進める(黄) ○用途地域外の白地地域の規制を強化する(黄)
住宅地	○第一種低層住居専用地域内で建物の老朽化が目立つ(緑) ○市街地において、宅地化が虫食い状態に進められている(緑) ○住宅が郊外に移っており、空洞化している(青)	○狭あい道路、行き止まり道路が多い住宅地を改善する(緑) ○区画整理による安全安心な住宅地(防災)(黄) ○住宅地をあまり広げない(黄) ○統一性ある区画整理による住宅地の整備(黄) ○むつ市営住宅の充実(広いスペース)(黄)	○区画整理事業等で計画的に整備する(緑) ○地区計画で開発を規制する(緑)
中心市街地	○商店街が弱体化すれば祭りやイベントができなくなり、伝統文化がなくなる(黄) ○先進地の視察の結果、むつ市に戦略性がない(黄) ○商店の空き店舗が多い(青)	○伝統・文化を活かした街づくりのために、田名部地区を再生する(緑) ○田名部本町は昔から下北の中心商店街であり、顔である(黄) ○田名部地区を中心市街地にすべきである(本町、駅前、小川町、新町地区)(黄) ○昔からの中心市街地を活かしたまち(黄) ○中心市街地が3つあるイメージ(青) ○高齢者が歩いていける中心市街地(青)	
公共交通	○高齢者の移動が困難である(青)	○高齢者等の自家用車を運転できない人のために、公共交通(鉄道、民間バス)を確保する。その他の行き届かない地域をコミュニティバスなどで補完する(緑) ○JR大湊線の強風時の運休問題の解消(黄) ○下北郡のバス交通網とターミナルの再考(黄) ○高齢者にとって買い物、病院への交通手段が整備されている街(黄) ○バス交通が充実したまち(路線、本数)(黄) ○高齢者に配慮したまちづくり(バス交通)(青)	○バス本数を増やす(黄) ○バスの定時性(時刻表どおりの運行)を確保する(黄) ○市内循環バスの整備(低額で)(黄) ○低料金の巡回バスの整備(青) ○予約制のデマンドバス(青)
公共施設		○むつ病院の拠点化を進める(緑) ○むつ病院を中心とした組織化等のネットワークシステムを構築する(緑) ○放射能施設のある地域の特性を踏まえて、放射線関連の病院を整備する(緑) ○中心市街地に公共施設を誘致する(黄) ○いろいろな施設が中心地にあり、利用しやすいまち(青)	○公共施設、福祉施設等を中心地に配置する(青)
道路等	○行き止まり道路や消防車が通れない道路がある(緑)	○都市計画道路3・4・3の橋が整備されると交通の流れがよくなる(図B)(緑) ○中央地区交差点付近は、交通の中心となりうる場所である(図A)(緑) ○市民のためを重視した道の駅を設ける(黄) ○大畑線がなくなったかわりに都市計画道路を整備する(黄)	○整備されていない都市計画道路のルート等を検証する必要がある(緑)
下水道		○下水道整備を進めていく必要がある(緑)	
産業の育成等(次回の検討テーマ)	○下北半島全体の産業経済の大きな変化を認識する必要があるヒバ⇒練場⇒イカ釣(黄) ○労働力の減少、誘致企業の撤退、漁業も農業もやる人がいなくなっている(黄) ○産業がない(青) ○観光面の宣伝ができていない(青)	○住宅地づくりのためには産業育成が必要である(緑) ○学生に県外見聞をさせ、大志を抱かせる(黄) ○人前でどんどんものを言える環境と習慣を奨励する(黄) ○地域性を活かした雇用・産業(黄) ○古き良きものを活かしたまち(青) ○「むつといたらこれ!」という目玉(青)	○地元企業を育成すべき、地元資源を生かした労働者、雇用を増やさない人口減少(黄) ○空き地、空き店舗の活用(青) ○中心地以外の集落、村づくり(青)

その他の意見

- ・計画策定の過程をオープンにする。
- ・策定委員会、委員会の経過等をオープンにする。
- ・ワークショップ、委員会の位置づけを明確にする。

むつ都市計画図

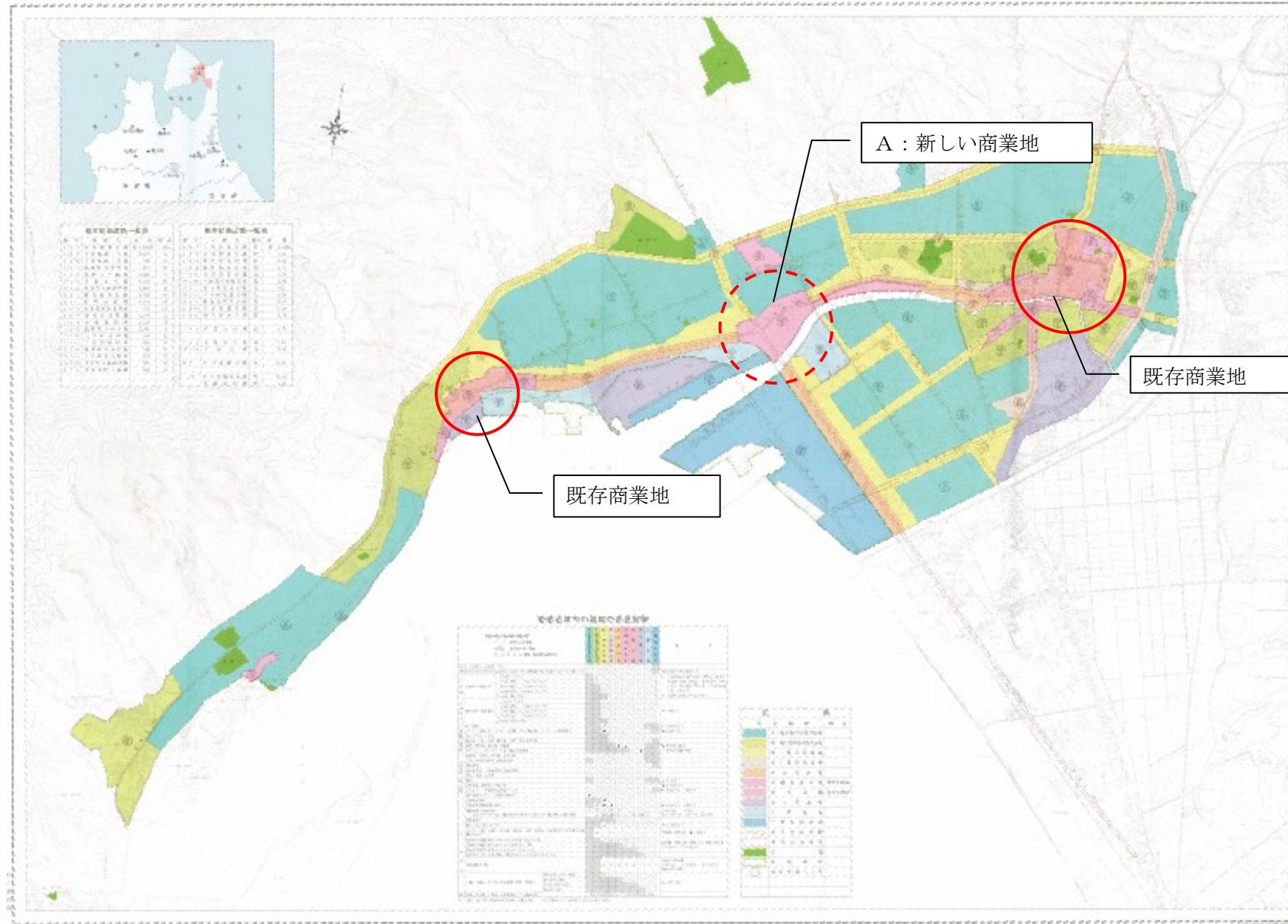


■第3回陸奥の国のまちづくりワークショップ 意見のまとめ 開催日：平成21年8月22日（土）

【テーマ】産業が進む道 ※ () カッコ内はグループ名

	現況の問題点	将来のイメージ	整備・保全・改善の考え方
農林業	<ul style="list-style-type: none"> ○熊、猿、鹿などによるレタスへの被害が拡大している(緑) ○人口減少、核家族化、少子高齢化などから世帯あたりの労働力が激減している(黄) ○後継者問題など農業を続けられないため、耕作放棄地が増えている(黄) ○大規模農業で機械を購入した農家は借金返済のために農業を辞めるに辞められない(黄) 	<ul style="list-style-type: none"> ○農業、林業の活性化(青) ○魅力ある農業(青) ○これまでの「マイナス思考」を「プラス思考」に変える必要がある(緑) ○畜産業の大手の企業を誘致する(緑) ○林業のチップ工業を考える(緑) ○耕作放棄地を活用する(緑) ○従来から行ってきた農業を継続することができないため、少ない労働力に見合った農業を進めていく(黄) 	<ul style="list-style-type: none"> ○下北でとれる農産物を活かす、研究する(青) ○後継者の育成方法の確立(青) ○農業加工業の活用(青) ○体験型の観光農業(青) ○若者が農業に関心を持てる仕組みづくり(青) ○農業と商業の連携を図り、地域のを地域で生産⇒配給⇒消費といったサイクルシステムを考える(緑) ○林業の活性化を図るため、間伐事業を活用する(緑) ○Iターン者など営農希望者が田畑を使えるような方策が必要(黄) ○雇用が少ない下北地域で働く場として、農業を活用できないか(黄)
漁業	<ul style="list-style-type: none"> ○漁業が衰退している(緑) ○良い浜があるが、水が汚い(緑) ○観光・レクリエーション面での漁業とのふれ合いがあまりない(黄) ○漁業の後継者が不足している(黄) 	<ul style="list-style-type: none"> ○漁業の活性化(青) ○魅力ある漁業(青) ○下北は漁業が第一(青) ○脇野沢には大手の水産企業を誘致する(漁業の工業化)(緑) ○漁業の株式会社化が必要である(緑) ○漁業権の問題はあるが、漁協と協力して、旅行者や観光において豊かな海、海産物を楽しめるようにする(黄) 	<ul style="list-style-type: none"> ○漁業加工業の活用(青) ○漁業体験や、海、川などを一般開放して、漁業とふれあうことができないか(黄)
商業地	<ul style="list-style-type: none"> ○むつ地区のスーパーは明らかに過剰であり、体力勝負では地元企業が不利である(黄) 	<ul style="list-style-type: none"> ○大型店舗と小型店舗の共存(青) ○現状以上に商業地を広げない(青) ○高齢者などが歩いてまわれる商業地(青) ○商業は、中央のように集まり易いところに集まるのが一般的である(図中のA)(緑) ○自動車を利用した商業地にならざるを得ない(緑) ○一定の制限を設けた商業地(黄) ○住民のニーズに応えた商業地を構築する(黄) 	<ul style="list-style-type: none"> ○商業地に高齢者施設を整備する(青) ○映画館、インターネットカフェなど若者や自衛隊の職員が遊べる場所を整備する(青) ○まちづくり三法を活用し、旧田名部地区の中心市街地の活性化を図る(緑) ○白地地域については、規制することも考えられる(緑) ○商業地域にある程度の規制をすることが必要(黄)
工業地	<ul style="list-style-type: none"> ○旧田名部川の砂防ダムで川の流れが悪く、水質が悪化しているので、湾の環境も考えるべきである(緑) ○湾の改良等を行う場合は、水質等の環境を考えてほしい(緑) 	<ul style="list-style-type: none"> ○地元農林漁業の加工業としての工業地(青) ○原子力の保守等の原子力関係の企業を誘致するべきである(緑) ○関根浜の海洋観測船を下北埠頭に移動させる(緑) ○自衛隊を利用し、港湾を活用したいが、現状の港湾だと浅いので、浚渫等を行い大型船が入れるようにする(緑) ○むつ市は原子力産業を核として、産業立地を図る(黄) ○中小企業が個別に努力することにも限界があるので、同業者での協力体制を整えて、力を発揮できるようにする(黄) 	<ul style="list-style-type: none"> ○最終処分場の整備(青) ○風力、水力、原子力発電の活用(青)
観光	<ul style="list-style-type: none"> ○下北は秘境が売りになっている(緑) ○大畑地区に宿泊施設がない(緑) ○道路整備が行われると観光客は、宿泊せずに通過してしまう(緑) ○新幹線の八戸-新青森間の開通が目前となっている(黄) 	<ul style="list-style-type: none"> ○自然のままの観光地(青) ○観光地だけでなく「食」としてのむつ(青) ○下北の食材を利用した観光産業を育成していく(緑) ○宿泊客のターゲットを安いもの目当ての宿泊客から、良いのだと高くてもよいと思っている宿泊客に変える(緑) ○少年自然の家を観光施設として開放する(緑) ○あわび取り等のめったにできない体験を有料化する(緑) ○新幹線の開通に伴い、七戸十和田駅からの下北地方への観光客の滞在時間が長くなるようにする(黄) ○恐山、薬研温泉など個別の観光施設だけでなく、下北地域全域や青函を睨んだ広域的な視野にたった観光を提供する(黄) 	<ul style="list-style-type: none"> ○食としてのむつの目玉をアピール(青) ○旧放牧地であった人切山を保全する(緑) ○JRの乗り継ぎや下北半島縦貫道路の早期整備により、交通の利便性を高めていく(黄) ○むつ市の特性を生かして田舎らしい田舎、自然を自然らしく整えていく(黄)
産業のための交通	<ul style="list-style-type: none"> ○むつ市の特産品があまり知られていない(黄) ○流通経路が限られているため、競争力が弱い(黄) 	<ul style="list-style-type: none"> ○幹線となる道路は必要である(緑) ○公共交通の利便性を向上できる仕組みを考える(緑) ○むつ市を含めた下北地域の特産品(高原野菜、大間マグロ、イカなど)を中央市場に新鮮なまま運び、高付加価値産品として売り込む(黄) 	<ul style="list-style-type: none"> ○下北半島縦貫道路の早期完成(黄)

むつ都市計画図

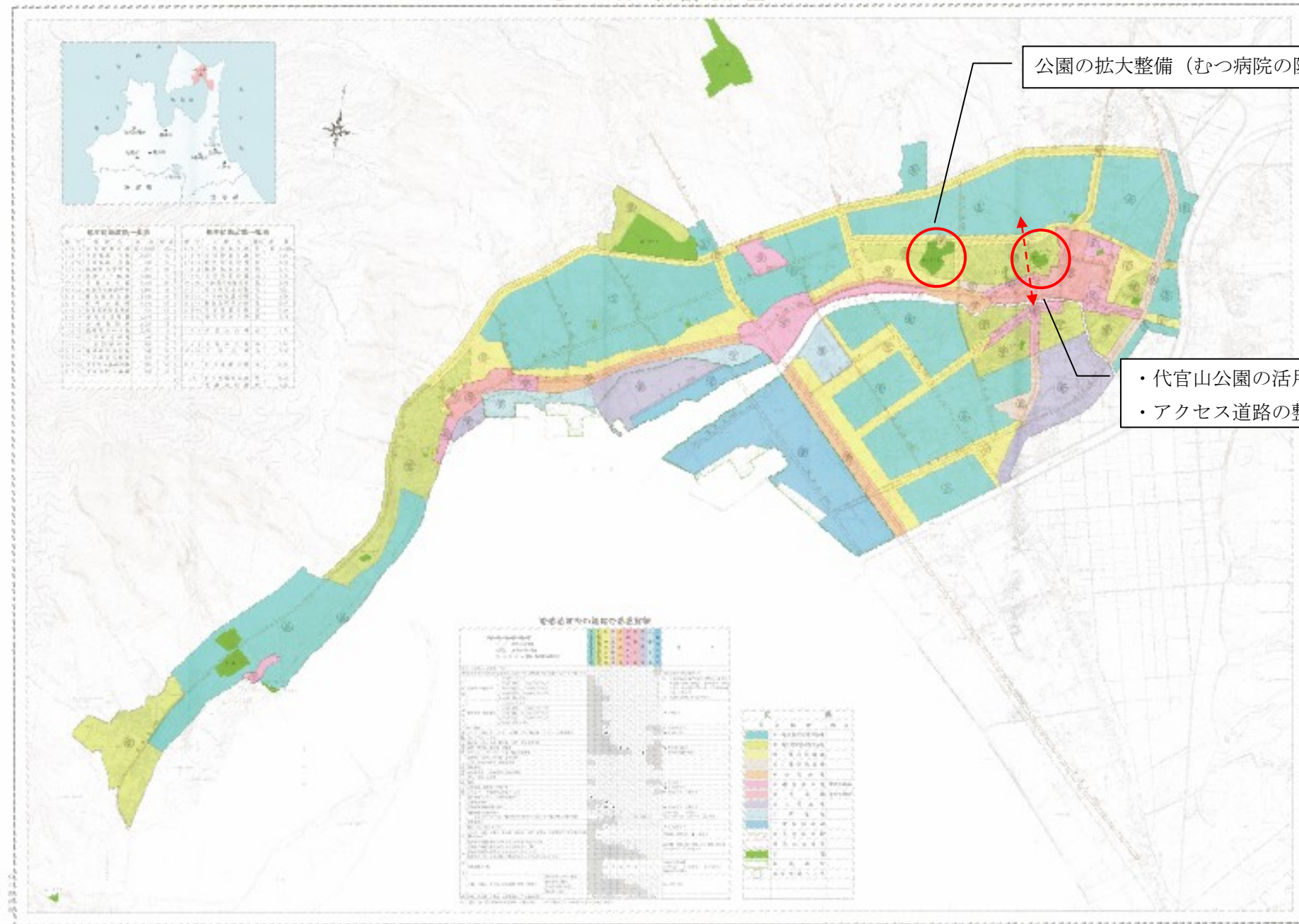


■第4回陸奥の国のまちづくりワークショップ 意見のまとめ 開催日：平成21年9月5日（土）

【テーマ】子孫に残す自然環境 ※ () カッコ内はグループ名

	現況の問題点	将来のイメージ	整備・保全・改善の考え方
河川・海など 水辺環境	<ul style="list-style-type: none"> ○河川工事、海の工事にムダ遣いが多いことと、環境破壊がみられる(黄) ○砂防ダム建設による自然破壊(青) ○脇野沢などの海岸が磯やけし、荒れている(青) ○海岸の保全方法が難しい(海産物の保護)(青) 	<ul style="list-style-type: none"> ○海、川、里山、まちの環境をキレイに(黄) ○植林をして、海との関連を高める。山の浄化、生活排水の浄化を図る(黄) ○野鳥が飛来する田名部川(青) ○自然の沢の保全と活用(青) ○畜産業の誘致など自然を雇用に活かす(青) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ウォーターフロント、リバーフロントの発想に基づく整備を図る(黄) ○下水道の整備促進(黄) ○生活排水を徹底して浄化する(黄) ○田名部川の未改修区間のカヤを残す(青) ○禁漁区としてイワナ等を守る(青)
山林・農地	<ul style="list-style-type: none"> ○山林の間伐不足(木の単価が安く採算がとれない)(青) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ヒバなどその土地に見合ったものを植樹する(青) ○個人所有の山林の維持、管理(青) ○里山の保全(青) 	<ul style="list-style-type: none"> ○手入れをするための支援を強化する(青) ○耕作放棄地の活用を検討していく(青)
自然地		<ul style="list-style-type: none"> ○むつ市民にとっての最大の財産は『自然』である(黄) ○自然のありがたみの継承(青) 	<ul style="list-style-type: none"> ○『はまなす』がむつ市の花と分かるほど植えて、それを活かした加工品の有効利用を図る(黄)
まちなかの緑	<ul style="list-style-type: none"> ○まちなかに緑が不足している(黄) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ビオトープ(生物多様性空間)の創造、演出を図る(黄) ○田名部川沿いの遊歩道の活用(ウォーキング、ジョギングコース)(黄) 	<ul style="list-style-type: none"> ○バランスの取れた緑地帯の確保 都市公園、街路樹など(黄) ○親水公園の整備を図る(黄)
公園・緑地	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な公園が少ない(黄) ○小川町児童公園は水処理が不十分で、いつも湿っていて子供が遊べない(黄) ○街灯(照明)が不足している(黄) ○住宅地に児童公園が整備されているが、利用者が少ない公園もある(青) ○ニーズが多様化しており、遊具などの対応ができていない(青) 	<ul style="list-style-type: none"> ○すべての公園の管理状況を点検して、子供や高齢者などに使ってもらえるように改善を図る(黄) ○自然の保全を目に見える形にする(公園の活用と保護)(青) 	<ul style="list-style-type: none"> ○代官山公園の活用、アクセス道路の整備(青)
農地		<ul style="list-style-type: none"> ○里山の保全(青) 	<ul style="list-style-type: none"> ○耕作放棄地の活用を検討していく(青)
景観		<ul style="list-style-type: none"> ○街並み景観の統一性を図る。 屋根の色やかたちなど(黄) 	<ul style="list-style-type: none"> ○景観条例の制定(黄)
防災		<ul style="list-style-type: none"> ○むつ病院のそばに防災ヘリポートを整備する(青) ○空地を活用した行き止まり道路の解消(青) ○海岸、河川の保全の必要性についての検討(青) 	<ul style="list-style-type: none"> ○民間での調整は難しいため、行政の支援が必要(青) ○避難場所の確保を図る(黄) ○避難道路を確保し、誰にでもわかりやすい避難場所への案内板を設置する(黄) ○公園の拡大、市役所跡地をヘリポートに活用(青) ○ミニ区画整理事業による道路整備(青) ○市街地の空地を1箇所に集めて有効利用する(青)
環境と生活	<ul style="list-style-type: none"> ○人口減少はまぎれもない事実である(黄) 	<ul style="list-style-type: none"> ○環境と生活の調和を図る。現在の我々は三内丸山の縄文文化に学ぶ必要がある(黄) 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会資本投資を拡大・分散することになる『開発を認める区域』を広げない(黄) ○開発規制が結果的に自然環境を守ることになる(黄)
文化資源	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財はたくさんあるが、市内に博物館がない(青) 	<ul style="list-style-type: none"> ○廃校舎、グラウンドの有効利用(集落のシンボルとして子孫に残す、例えば公園化、集団農地化)(青) ○博物館、展示場の整備による遺跡物などの文化財の展示(青) 	<ul style="list-style-type: none"> ○廃校舎、旧市役所庁舎を博物館、展示場(郷土館)に活用(青)
都市のインフラ整備	<ul style="list-style-type: none"> ○都市計画に大局的な戦略性がない(黄) 		<ul style="list-style-type: none"> ○道路を一度作ったら壊さない。電気、水道、ガスなど、道路を掘り起こす工事は調整して一度にできるようにする(黄)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○中間貯蔵施設を安全だと思っている市民は多いのか(黄) 		

むつ都市計画図



公園の拡大整備（むつ病院の防災ヘリポートの整備）

- ・代官山公園の活用促進
- ・アクセス道路の整備